

**「塩狩峠」 三浦 綾子 著 新潮社 1968年9月発行**

2冊目になりますが、こちらもぜひご紹介させてください。この作品は、1冊目の『カモメに飛ぶことを教えた猫』よりもさらに前、高校時代に読書感想文の課題として読んで感銘を受け、それからかなりの時が流れた今でも、とても心に残っている1冊で、実話を元に創作された作品である、というところに惹かれて選んだと記憶しています。

当時、三浦綾子さんの作品にふれるのは初めてで、読み始めたばかりの頃はあまり興味を持たなかったのですが、途中からぐいぐいと引き込まれていき、続きが気になってどうしようもなく、真夜中までかかって号泣しながら読み終えたのを、今でもはっきりと覚えていています。

主人公のモデルとなった人物・長野政雄さんについて書かれた『塩狩峠、愛と死の記録』（中島 啓幸 著、フォレストブックス、2007年7月発行）という関連書も、旭川高専の図書館に所蔵がありますので、合わせて読んでみるのも良いかと思います。

旭川市出身の作家・三浦綾子さんは、1922年生まれ。今年2022年は、生誕100年にあたります。旭川高専の図書館には、『三浦綾子全集』のほか、文庫本など色々な作品を所蔵していますので、まだ三浦文学にふれたことが無いという方は、この機会にぜひ読んでみてはいかがでしょうか。